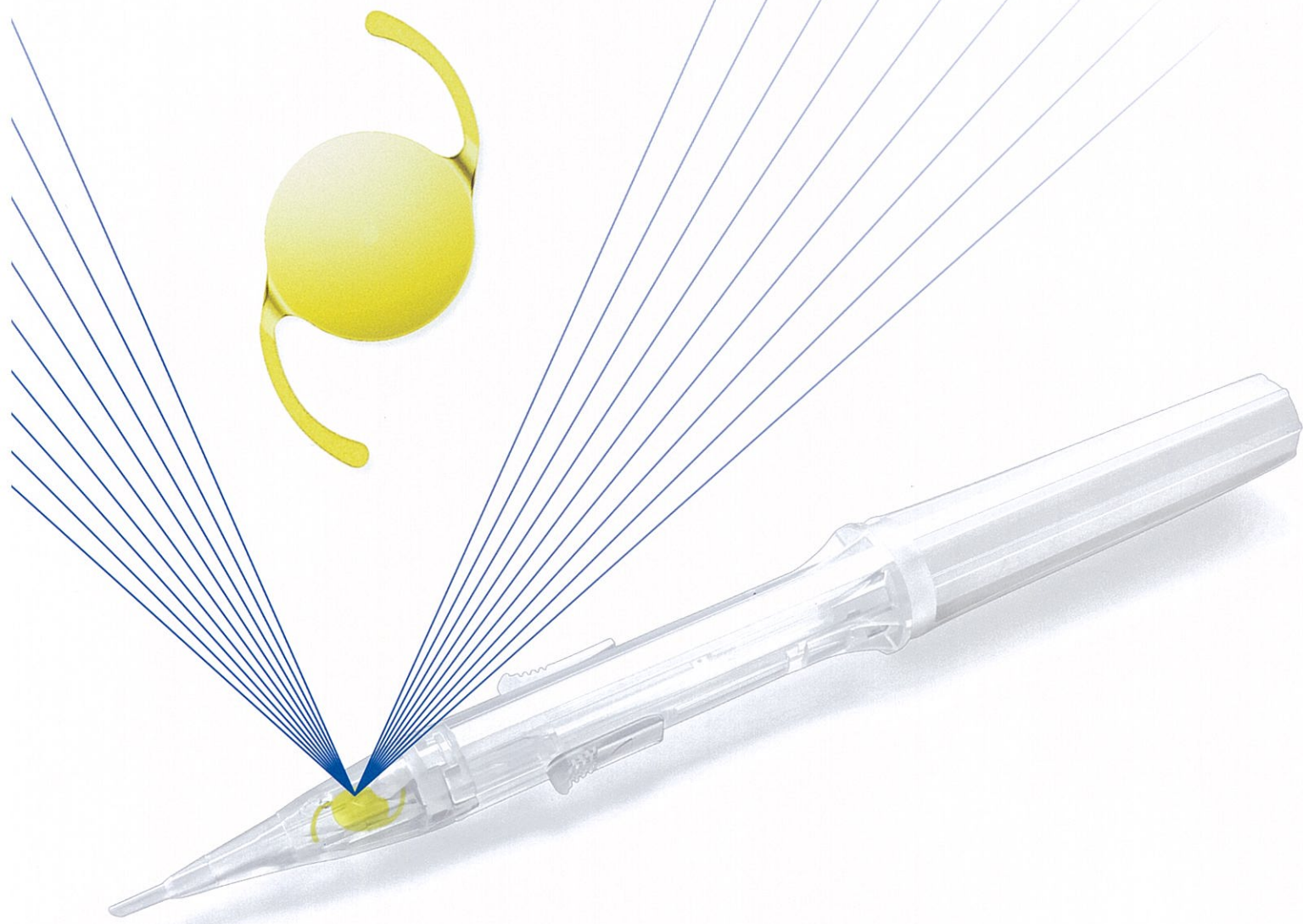


# Vivonex<sup>®</sup> iSert<sup>®</sup> Model XY1

極小切開対応プリロードIOL



## 新たな疎水性アクリル素材 「Vivonex」を用いた1ピース 非球面眼内レンズ

- ・PCO抑制に寄与<sup>\*1</sup>
- ・長期透見性への期待<sup>\*2</sup>

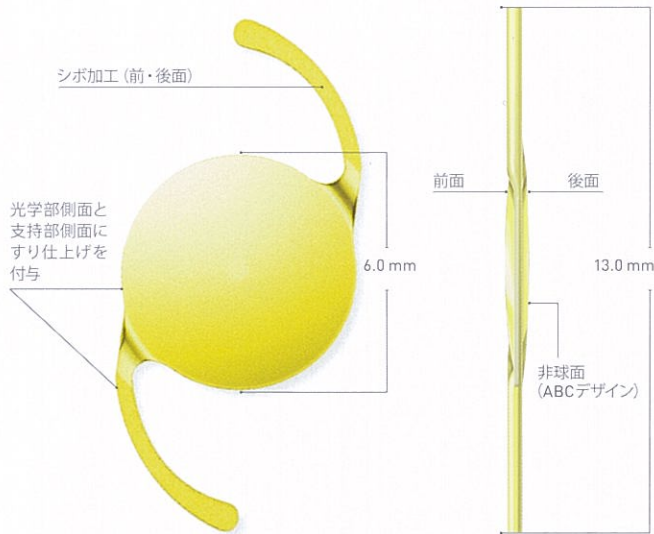
## 極小切開に対応した新しいiSert プリロードシステムを採用

- ・再現性・操作性に優れたプリロードシステム
- ・スムーズな操作を可能とする人間工学に基づいたデザイン

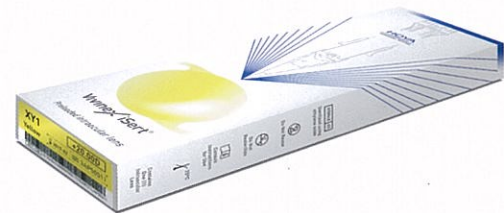
## 特徴のあるレンズデザイン

- ・シャープエッジ
- ・光学部及び支持部の側面にすり仕上げを付与
- ・独自の非球面設計 [Aspheric Balanced Curve (ABC) デザイン]

# Vivonex<sup>®</sup> iSert<sup>®</sup> Model XY1



モデル名	<b>XY1</b>
光学部仕様	非球面 (ABCデザイン) すり仕上げ (側面)
光学部及び支持部材質	紫外線吸収性黄色軟質アクリル樹脂 (着色疎水性軟質アクリル素材 [Vivonex])
支持部仕様	シボ加工 (前・後面)、 すり仕上げ (側面)
光学部径/長径	6.0 mm/13.0 mm
製造範囲	+6.0 ~ 30.0 D (0.5Dステップ) <sup>※3</sup>
A定数	118.9 <sup>※4</sup>
推奨切開創サイズ	強角膜1.8mm~ 角膜2.0mm~



- ※1 国内3施設にて実施した臨床試験結果 (当社「HOYA エイエフ-1 (UY)」との比較)
- ※2 HOYA社内資料 (加速劣化試験、in vitro)
- ※3 2015年4月現在。
- ※4 A定数は参考値としてお考え下さい。レンズ度数を厳密に算出される場合、ご使用の装置やご経験に基づき独自のA定数を計算されることをお勧めいたします。



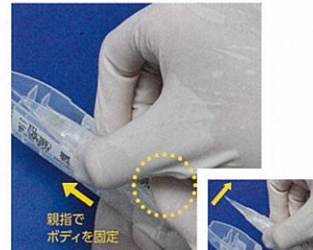
## ステップ A

粘弾性物質注入ポートから点線で示す範囲を満たすように粘弾性物質を注入する。この時レンズ光学部に粘弾性物質が十分に行き渡っていることを確認する。



## ステップ B

カバーのリリースタブをつまみながら持ち上げ、カバーをケースから取り外す。



## ステップ C

インジェクターのボディを親指で固定しながら、スライダーを完全に突き当たるまで移動させ、レンズをゆっくり前方に押し進める (押し進めた後の状態で3分以上放置しないこと)。ケースからインジェクターを取り外し、直ちにステップDに進む。



## ステップ D

スクリューを時計回りに回転させる。その際、下記3点を注意深く確認する (写真参照)。

- ① ロッドがレンズ光学部の後方縁に近づくとつれ後方支持部 (ループ) がレンズの内側にタッキングされること。
- ② レンズが前方に進むにつれ、前方ループがレンズの内側にタッキングされること。
- ③ ロッドがレンズ後方縁のほぼ中央部を押していること。

確認後は直ちに次の手順に進む。ベベルダウンで、切開創からインジェクター先端のノズルを慎重に挿入し、ゆっくりとスクリューを回転させて、囊内にレンズを放出する。

販売名 : HOYA Vivonex アイサート  
承認番号 : 22400BZX00498000  
製造販売元 : HOYA株式会社  
東京都新宿区中落合2-7-5

HOYA株式会社 メディカル事業部  
〒164-8545 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス6F  
TEL.03-5913-2343

Singularly Focused. Globally Powered.™

**HOYA**  
SURGICAL OPTICS